

伊方発電所周辺地域のお客さまへの訪問対話活動の実施結果について

今回の訪問対話活動は、伊方発電所3号機の再稼働に関する地域の皆さまへのお礼と、引き続き安全・安定運転に取り組むことをお伝えするために実施いたしました。

活動においては、お礼等をお伝えするとともに、従来と同様、地域の皆さまのご意見・ご質問を丁寧にお伺いする「広聴」に軸足を置き、ご質問等に分かりやすくお答えするよう努めました。

概要は以下のとおりです。

1. 実施状況

- ・ 期 間 平成28年10月12日(水)～11月4日(金)[24日間]
- ・ 訪問戸数 27,750戸(在宅率:約49%)

(内訳)

地 域		期 間	戸 数
伊方町	旧伊方町、旧瀬戸町、旧三崎町	10/12～10/25	4,556戸
八幡浜市	旧保内町、旧八幡浜市	10/12～11/4	15,800戸
大洲市	旧大洲市(一部)、旧長浜町(一部)	10/24～11/4	2,689戸
西予市	旧宇和町(一部)、旧三瓶町	10/18～11/4	4,705戸
戸 数 の 合 計			27,750戸

- ・ 当社の参加人数 634名(のべ1,344人、従業員が2人1組で訪問)

2. 実施結果

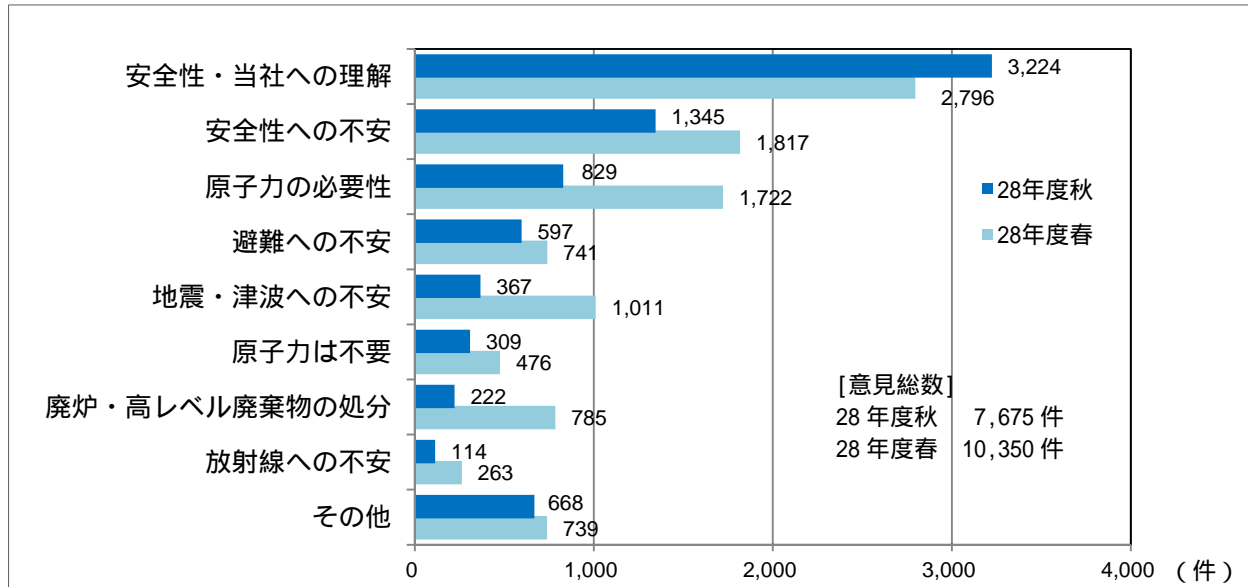
今回の訪問対話活動では、お客さまから約7千7百件の貴重なご意見をいただきました。

前回に比べ、意見数が約4分の1減少しましたが、これは本年度2回目の活動であったこと、再稼働を機に伊方3号機の報道が減少したことなどが、影響したものと考えております。

具体的には、全体的に意見が減少する中、「安全性・当社への理解」のみが前回よりも増加した一方、本年4月の熊本地震、活動期間中に発生した鳥取県中部地震などから、「安全性への不安」「避難への不安」「地震・津波への不安」など、原子力に対する慎重なご意見もいただいております。(図1)

当社としましては、今回の対話活動でいただいたご意見やご質問をしっかりと受け止め、地域の皆さまの関心やニーズを踏まえ、不安感の払拭に力点を置くなど、より解り易い理解活動に引き続き丁寧に取り組んでまいります。

[図 1] お客さまからの主なご意見



[参考] お客さまからのご意見（抜粋）

[原子力に関する慎重なご意見]

- ・ 万一の事故時の影響が大きい。絶対に安全とは言えないではないか。
- ・ 想定を超える自然災害の発生を考えると不安が一掃されない。
- ・ 高齢者や要介護者が本当に避難できているのか。
- ・ 電気は十分に足りている。早期に運転を中止するべきである。
- ・ 再稼働前後の伊方トラブルの報道を見て、四電の技術力に不安を感じた。

[当社への要望などのご意見]

- ・ 再稼働後も安全第一にしっかりと取り組んでほしい。
- ・ 安全対策に終わりはないので、責任をもってしっかりと取り組んでもらいたい。
- ・ 地域との信頼関係が大切であり、今後も訪問対話活動を継続してほしい。
- ・ 安定供給には原子力は必要。安全に気をつけて運転をお願いしたい。
- ・ 小さなトラブルでも公表するなど、引き続き情報公開を徹底してほしい。